

# 同推協だより

No.138

2024年7月発行  
神前地区同和教育推進協議会  
Email:kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp



## ☆神前地区同推協 総会開催☆

5月10日(金)、神前小学校体育館で「2024年度神前地区同和教育推進協議会総会」が開催され、今年度は新型コロナ流行前と同様の130名と多くの参加がありました。

第一部では、会長・来賓挨拶の後、事業報告や活動方針などが提案され、今年度の活動と方向性が確認・承認されました。特に組織変更により専門部を研修啓発部・企画部・広報部の3部として総務部を無くし、その人員を各部に振り分け、専門部役員等の負荷軽減と部員自身の人権感覚の育成高揚を図り、メンバーの増強と継続的確保を目指します。今も残る課題の解決のために、地域住民を中心に人権に関しての無関心者を減らす活動を実施したいと思います。

第二部では、初めて啓発委員になられた方に、同推協の活動を理解してもらえよう、企画部のメンバーによる寸劇(懇談会)が上演され、終始和やかな雰囲気での総会でした。

### ☆2024年度 活動方針(一部抜粋)☆

同推協活動は、『自分達のまちづくりの活動』として位置づけられています。差別によって歪められてきた関係を豊かに築き直すことが、未来に展望の持てる『人権のまち・かんざき』につながるということを、同推協から地域の人たちに、広くアピールしていきます。

連合自治会・地区社協とともに教育機関・諸団体・地区の行政出先機関との連携を更に強化し、地域が一体となり『誰もが心豊かに安心して住めるまちづくり』を住民自身の手によって進めていけるよう、様々な企画を提案していきます。

☆2024年度の役員です! ☆ 皆様ご支援のほどよろしくお願いいたします!!

役職名	名前(敬称略)
会長	近藤 静夫
副会長	武藤 清
副会長	中山 芳弘
本部書記	中川 里美
会計	林崎 恵美子
研修啓発部長	坂倉 千雅
企画部長	坂倉 乾三
広報部長	桂川 恵次

### 総会の様子



## 2024年度神前同推協各部長の抱負

### 【本部】会長 近藤静夫

本年度は過去50年間の活動でも同和問題で解消出来ずにいる課題に、今一度真剣に向き合いどうすれば、多くの人に人権問題に関心を持ってもらうことができるかを、試行錯誤しながら取り組みたいと思っております。心の奥底に潜む差別心が何らかのきっかけで表面化することを、自分自身時おり実感することがあります。多くの方が潜在意識の中に無意識や無批判に正しいことと受け入れてきた事(言い伝え・迷信・親世代からの教え・最初に得た情報等々常識の名のもとに)があります。知らず知らず他人の人権を侵すような発言をしたり、逆に自身の人権が脅かされていても、気づかずにいるそんな不幸と決別し、正しく学び直し仲間と語り合う中で人権をより確かなものになりたいと思います。

### 【企画部】部長 坂倉乾三

神前同推協設立50周年、私が神前に来たのが50年前、それから50年今はいつまでそんな事をしているのか?そしてまた同推協って何?全く知らなかった?どんな事をするの?等いろんな話を聞く。半世紀前進はあるものの根強く残る差別は無くなっていない。活動中いろんな問題が出てくる。無くす為あげない為、皆が知って、正しく理解し後退のない少しずつ前向きな活動に取り組みたい!!

### 【広報部】部長 桂川恵次

同推協活動に参加することになって1年、未だ未だ経験不足と、勉強不足です。そして本年度から広報部に移動になりました。未だ何もしていません、活動を理解して自分の意見が言えるように成りたいと思います。どうかご協力よろしくお願いいたします。

### 【研修啓発部】部長 坂倉千雅

研修啓発部長を務めさせていただきます。研修部は夏の研修会に向けて始動しております。去年の反省等を踏まえ今年度も部員さんたちと共に精一杯務めていきますので、研修部の全力を夏の研修で感じて頂けたらと思います。夏の研修会で各種団体・地域のみなさんとお会いできるのを研修部一同、楽しみにしております!



### 新役員紹介

### 第2部寸劇(部会懇談風景)



## 第22回『人権フェスタかんざき』が開催されました！

6月9日(日) 13:30~15:40 神前小学校 体育館にて開催されました。あいにく雨が降ったり止んだりの天気でしたが180名を超える人に来場していただきました。神前地区の連合自治会・社会福祉協議会・同和教育推進協議会の共催事業として地区の諸団体の協力を得て実施しました。今回は人権講演会で公益財団法人反差別・人権研究所みえの常務理事で事務局長の松村元樹さんに『無関心でいられても、無関係でいられない人権問題』と題して講演をしていただきました。人権には「世界共通の基準」があること、人権や権利は憲法や条約等で定められている。人権とは抽象的で漠然とした個人の「考え方や思い」ではなく、宣言や人権関連条約や規約、法律で規定されているもの。人権を保護し人権が尊重されるための法律を作ることや制度を設計することは国の責務であることが原則となっているという基本から、**人権とは何かを正確に捉えるには人権を規定している世界人権宣言や国際人権規約や各種人権関連条約、日本国憲法や権利を謳った法令の内容を認識しなければならない。**平等とはの問題提起と、差別について説明があり、マジョリティの特権についての話がありました。**マジョリティ(多数派)の特権とは努力や実績とは無関係に偶然に持ち合わせた属性が多数派等にあることで、特定の社会において自動的に得られる、あらゆる優位性や恩恵のこと、また多くの人は優位な人生のスタート位置を用意されマジョリティに優位に偏っている社会で生きているという認識が乏しいことで、マイノリティ(少数派)の人にも無条件に与えられるべき権利が阻害されていることに気づきや関心がない。**差別の問題を自分事として捉えるには、マジョリティとしての当事者性を持ち、自身のあり方を問い、これから自分はどうすべきか、不公正が及ぶ構造をもつ社会をどのように変えるべきかを前提に考え行動することが大切である。**人権教育・啓発の基本の柱は：無意識の偏見や思い込み無意識の日常的差別(マイクロアグレッション)への自覚や認識による課題意識：差別を制度や慣習・慣行、観念、社会構造の問題であることの認識と加担や容認していたことへの自覚と認識：憲法や人権諸条約、法令、権利に関する学び：マジョリティの特権を学ぶ事を通じて差別への加担や容認している自身の課題意識：マイノリティが置かれている状態や構造から、自分とのつながりや重なりを見出す学びが重要。**また自身で出来ること(講演会に積極的に参加、本を読む、視聴覚教材を視聴する等でアップデートし続ける。インプットしたものをアウトプットする(知識、理解、気づきを話題、通信ネット等)等の今後どう行動すればよいのかのアドバイスがありました。

(この講演会のビデオDVDの貸出しは可能です)



## 『人権フェスタかんざき』入場者のアンケートより



- 自分があたり前だと思っていたことが他人から見たらあたり前じゃない人もいる。その事を理解し部落問題や差別についてともに考えていきたいと思う。無意識の差別と言うのが一番怖い。その事を心にとめて活動していきたい。(30代)
- 産まれた時から“人としての権利”があることがわかり差別には色々あることがわかった。今後、講演会等に積極的に参加し自分の知識等をアップデートしようと思いました。(40代)
- 人権差別について色々学ぶことが出来ました。詳しく知ることが出来ました。生まれてから育った環境・家庭によって差別を受ける人達がいるこの世の中、私達は人権・同和についてもっと勉強していかないといけないと思いました。子どもより大人の方が人権について学んでいない方が沢山みえるのでこのような講演会を沢山開催して欲しいです。(50代)
- 内容的に良かったと思うが、人それぞれのとらえ方ができるのかなと思う。自分自身が今まで受けた差別を思い出した。今も尚ある差別、親が昔から言っていた私が死ぬ時には部落差別は無く成っているのかなと言っていたが私は無理だろうと言ったことを思い出した。今でも部落差別はあります。私は結婚差別を何回も受けてきた。(60代)
- 人権劇で表現出来たらわかりやすいだろうな。日常あまり差別について考えないで生きているが、このような会に参加して改めて見直してみる必要を感じます。(70代以上)

## 参加者の感想

「人権」とは何か。つい他人への思いやりとかやさしさ、あるいは差別していないという個人の考え方だと捉えてしまうが、実際は人権宣言や条約、法律などで具体的に規定されているものである。そしてたまたま多数派(マジョリティ)に属することで、その法律などによる恩恵を受けているにもかかわらず、自覚することがないという内容でした。今回の講演を聞き、これからは上記のような視点からも人権を守る行動をしていきたいと思った。(武藤清さんより投稿頂きました)



秋の町別・団体別懇談会に向けて啓発委員研修会が実施されます。自治会や各団体選出の啓発委員や一般公募の啓発委員のメンバーは懇談会の運営や進行の中心となるよう、研修を行います。懇談会で各町・団体の皆さんと語り合えることを楽しみにして研修に励みます！！

## 同推協啓発委員 募集中

啓発委員になっていただける方は市民センターロビーに設置してあるポストにお名前を記入して投函してください。(申込用紙は置いてあります。)お電話でも、FAX、メールでも構いません。啓発委員になっていただければ委員研修やイベントに参加して頂いたり、同推協の活動内容のお知らせを送付いたします。